

# 原子力施設の事象の国際評価尺度 (INES)

<b>INCIDENT No.</b>		<b>FOLLOW UP No.</b>			<b>NUPEC No.</b>			<b>ERF No.</b>		905		
<b>事象タイトル</b>		ウラン回収浄化施設におけるウラン廃液の環境放出							<b>事象発生日</b>			
									2008/07/07			
<b>評価結果</b>		<b>レベル</b>							<b>事象のタイプ</b>			
暫定 <input type="checkbox"/>	<b>評価日</b> 2008/07/11	<b>尺度外</b>	<b>尺度未満/ レベル0</b>	<b>インシデント</b>			<b>事故</b>				発電所 <input type="checkbox"/>	研究炉 <input type="checkbox"/>
最終 <input checked="" type="checkbox"/>				1	2	3	4	5	6	7	廃棄物処理 <input type="checkbox"/>	放射線源 <input type="checkbox"/>
<b>国名</b> FRANCE		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	照射/加速器施設 <input type="checkbox"/>	輸送 <input type="checkbox"/>
<b>ロケーション</b>		<b>施設名</b> SOCATRI Bollène (Vaucluse)							燃料製造施設 <input type="checkbox"/>	燃料再処理施設 <input type="checkbox"/>		
									研究施設 <input type="checkbox"/>	採鉱/精錬 <input type="checkbox"/>		
									濃縮施設 <input type="checkbox"/>	放射性同位体処理/取扱い施設 <input type="checkbox"/>		
										その他 <input checked="" type="checkbox"/>		
<b>人と環境への影響</b>										<b>YES</b>	<b>NO</b>	
法定限度を上回る放出か?										<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
公衆の過大被ばくか?										<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
従業員の過大被ばくか?										<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<b>施設における放射線バリアと管理への影響</b>												
施設内の汚染の拡大か?										<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
施設内の放射線バリアの損傷 (燃料損傷を含む) か?										<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<b>深層防護の劣化</b>												
<b>その他の情報</b>												
負傷/死傷者の発生か?										<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
問題の継続か?										<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
プレス発表がされたか?										<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<b>事象の概要</b>												
<p>2008年7月7日から8日にかけての夜間、SOCATRI社施設において異常事象が発生した。ウラン廃液処理施設 (STEU) の1つのタンクからウラン廃液が、滞留タンクに溢れ出した。この時滞留タンクは漏れを防止する機能を有していなかったため、環境汚染を引き起こした。</p> <p>2008年7月10日、4人の原子力安全規制機関 (ASN) の検査官と2名の放射線防護・原子力安全研究所 (IRSN) の専門家が、STEU施設の詳細な点検を行った。</p> <p>彼らは施設、事象の流れ、事業者が行った最初の是正処置を調査した。</p> <p>検査官は、ウラン廃液のGaffiere川への流出が停止していることを確認した。</p> <p>彼らは以下の不法行為を記録した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染の拡大防止の安全対策が満足するものでなかった。</li> <li>・今回の異常事象の間、運転状態が適切な規制要求を遵守していないことが浮き彫りになった。</li> <li>・事業者による危機管理は、規制当局への情報提供に関する欠陥を示すものであった。</li> </ul> <p>この7月10日の点検報告は、ASNのウェブサイト (www.asn.fr) に掲載されている。</p> <p>これらの不正行為は、7月16日、カルパントラの検察官に提出された。</p> <p>ASNの団体は7月11日に事業者と会った。そして汚染源である処理施設への廃液の受け入れを一時的に停止し、施設に対し安全な状態にする措置を直ぐに講じるよう、SOCATRI社に要求を行った。</p> <p>ASNの団体は、またSOCATRI社に川の中の分析と、周囲の地下水のモニタリングの強化を要求した。そしてその結果を定期的にASNに送信するよう要求した。</p> <p>7月12日、ASNは事業者がASNの是正対策要求を実行しているかどうかの状況確認のため、第2回目の点検を行った。</p> <p>このASNによる要求事項は、確認点検によりSOCATRI社で適用されていた。</p> <p>この7月12日の点検報告は、ASNのウェブサイト (www.asn.fr) に掲載されている。</p> <p>最近の環境における計測では、ほとんどの箇所では地表面及び地下水の計測値は通常の値に戻っていることを示している。なお2箇所の地下水の計測値は、飲料水、灌漑用水用にWHOが推奨している値よりも高い値となっており、専門家が注目している。しかしこのトリカスタン付近の箇所については、既にIRSNによって注目されていた。7月4日のトリカスタンの情報委員会 (CIGEET) でもこのことが報告されており、この問題については、9月のミーティングが議論される予定である。</p> <p>Vaucluse県は、事象後も計測を継続すること、飲料水、灌漑用水の使用を制限することを決めた。原子力の情報と透明性に関する高等委員会 (HCTISN) は、7月16日にSOCATRI社のヒアリングを行った。このミーティングにASNも同席した。</p> <p>ASNは、7月18日に行われるCIGEETの臨時のミーティングにも参加する予定である。</p> <p>この事象は、国際原子力事象尺度 (INES) レベル1に分類される。</p>												